



令和5年度になり、2か月が経ちました。
今年度も小美玉市の未来を担う人材（人財）育成に向け、子供たちの可能性を引き出す活力ある学校づくりを進めております。今号では、学習に関するものをご紹介します。

学力向上における本校研究テーマ

まなび
P

「自分の考えを理由や根拠を基に表現することができる児童の育成」

今年度の学力向上におけるテーマは、表現力の向上。理由や根拠を基にした表現力の向上です。

高校や大学へ進学したり、社会人になればなるほど、多様な考えをもつ他者とかかわることとなります。その際に大切になるのは、いかに自分の考えや気持ちを伝えることができるか、そして理解してもらえるように伝えられるかです。そのための準備を小学生からしていきたいと考えております。

プレゼンテーションやディスカッション等を含む通常授業だけでなく、遠隔地にいる方とのオンライン授業、ビブリオバトル、人権集会等、ICT機器のメリットも生かしながら、理由や根拠を基に自分の考えを表現できる力を向上させるための場を創出してまいります。

目標：学校評価アンケート「自分の思いや考えを表現できる」80%



まなび
P

外部人材の活用

現在、学校教育は「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められています。

その実現を学校内部だけで完結させることは、容易なことではありません。目的や相手が必要です。目的があれば、受け身ではなく、自分から学びに向かうことができます。相手がいれば、相手を意識した内容や表現方法を考えようとする必然性が生まれます。さらに、専門性の高い方が相手であれば、高度な知識や技能を学ぶことも可能となります。

そこで、企業や地域の方にご協力をいただき、わくわくする授業を行っております。

例) 情報モラル教室：全学年

食育：全学年

オンライン英会話：5・6年

書写指導：5・6年

ミシン支援：5・6年

環境教育：5年

キャリア教育：6年

そろばん指導：3年

まちたんけん：1・2年



♪外部人材募集♪

保護者の皆様、地域の皆様、企業の皆様、「子供たちとこんな授業をしてみたい!」という情熱はありませんか。自身のスキルを子供たちのために生かしてみませんか。

ご相談は教頭まで。お待ちしております。



まなび
P

ICT機器の活用

1人1台端末（タブレット端末）が市から貸与され3年が経ち、すっかり授業や家庭学習等の学びになくてはならないものになりました。

今年度は、自分に合った内容を自分に合った数だけ学べるようにするため全学年に漢字と算数のデジタルドリルを、分かりやすさの推進を図るため5・6年に算数のデジタル教科書を、全学年に算数の指導者用デジタル教科書を導入しました。

既存のGoogleアプリの新たな活用方法も含め、ICTによって何ができるかについても継続して研修を進めています。

目標：学校評価アンケート「ICT機器を活用し、学びを深めている」85%



まなび
P

特別支援教育の推進

本校には、特別支援学級（知的、自閉症・情緒）が5学級、通級指導教室（言語）が2教室あります。

一人一人のニーズに合った多様な学びの場を用意するとともに、個別の教育支援計画や個別の指導計画をもとに、支援・指導をしております。